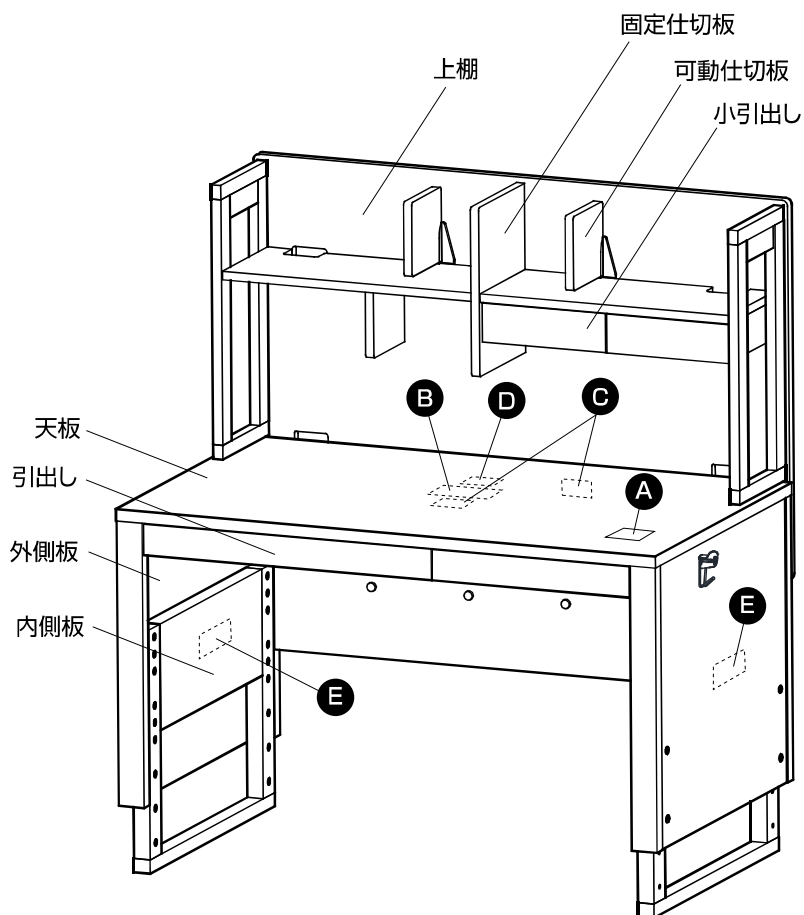
# デスク
# 865XTA
## 組立・取扱説明書

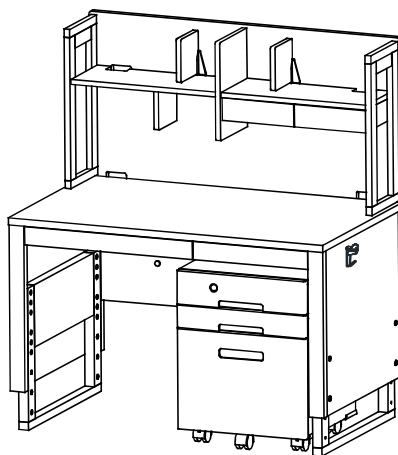
**保存版** 保証書付

Study DESK
スタディデスク

組立には⊕のドライバーが必要です。
ご用意してから組立ててください。
*電動ドライバーは、製品を破損する恐れがあるので、使わないでください。

組立ては2名以上で行ってください。

このたびはオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この組立て・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

## ■組立完成図（各部の名称）

### ■デスクと専用ワゴンの組合せ例

okamura

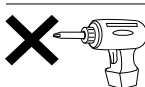
# 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

| ⚠ 注 意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表します。 |
|---|---|

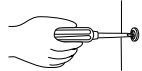
## ⚠ 注 意

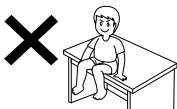
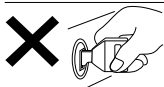
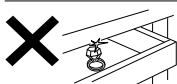
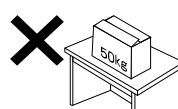
### ⚠ 組立て上のご注意

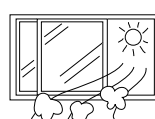
組立て前に説明書をよくお読みの上、ボルト類はドライバーで確実にしめ、組立て部品は省かずに使用して正しく組立ててください。

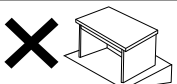
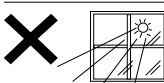
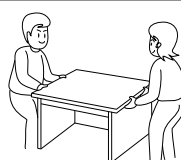
組替え式デスクを組立てる前に、まずは身長を計り、その身長に合わせて天板高さを決めて組立ててください。

組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ボルトが外せなくなる恐れがあります。

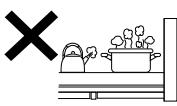
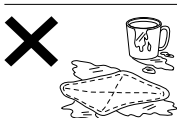
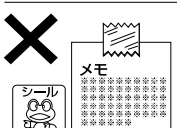
組立てパターンにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

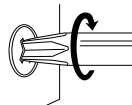
分割式ワゴンの上部を分解する際は、回転金具の矢印の位置が下を向いていること確認してから取外してください。

組立て後は平らな場所で製品の本締めを行い、各部がしっかり取付けられているか確認してください。

### ⚠ 取扱い上のご注意

製品を乱暴に取扱うことや、用途以外での使用はしないでください。製品に体重をかけたり、のることは絶対にしないでください。転倒および破損の原因となり危険です。

鍵の開け閉めの際は、鍵を深く差し込んで回してください。また、無理に回し過ぎると鍵や錠が破損することがありますのでご注意ください。

この製品の施錠は、故意による開錠やこじ開け等には対応しておりません。貴重品等の保管には使わないでください。

製品に載せるものは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり危険です。

**天板最大積載質量=40kg**（等分布静荷重）

購入当初の製品は接着剤や塗装物質の臭いがすることがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行い定期的な換気を行ってください。

### ⚠ 据付け時のご注意

水平で安定した場所を選び設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。

直射日光のあたる場所、温度や湿度の高い場所での使用は、変質・変形・変色のもとになりますので避けてください。

製品の据付け及び移動の時は、必ず二人以上で持ち上げてください。
製品を引きずると、床を傷つける場合があります。

### ⚠ 末永くお使いいただくために

高熱になっているものを直接製品の上に載せないでください。
変質・変形・変色の原因となります。

製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。表面材の変形やシミ・腐食の原因となります。ぬれた場合は、水分が残らないようにすぐにふき取ってください。

製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。
表面材がはがれる原因となります。

硬いもので製品をこすったり、下敷き等を使用せずに先の硬いボールペンなどの筆記具で書きものをしないでください。
変形やキズの原因となります。

ボルト類のゆるみと部材の接続部は定期的に点検し、ゆるみなどがあった場合はしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用した場合、変形・破損及び転倒の危険があります。

本製品は天然木を使用しています。天然木は、天然材料のため木目や色も様々です。また、材料の表面は家具としての耐久性向上と保護のため表面加工がしてあります。これらの特徴をご理解いただき末永くご愛用ください。

# ⚠注 意

## ⚠お手入れについて

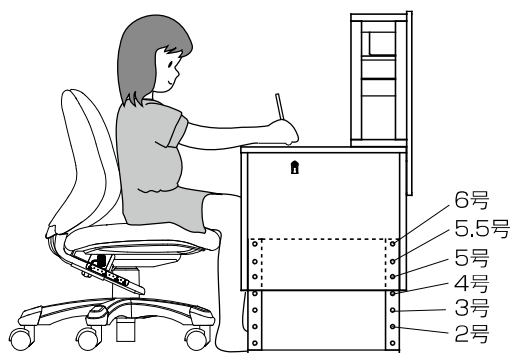
硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないように硬くしぼった布できれいにふき取ってください。多量に水分が残ると変形･変色の原因となります。

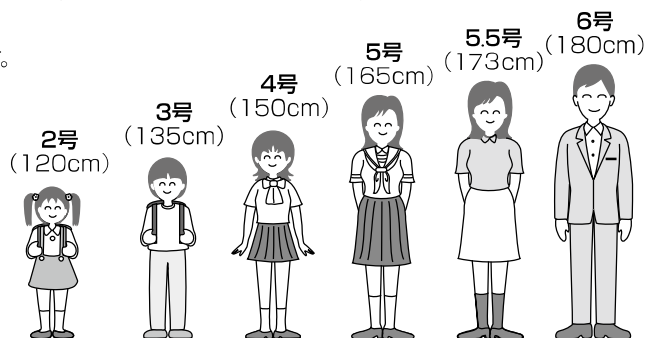
アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

## 組立前にご確認ください。

### デスク天板の高さ、イスの高さ・奥行き

このデスクは、学校用家具のJIS規格 2号（身長120ｃｍ）から６号（身長180ｃｍ）に対応して、６段階で天板の高さを調節できます。
下図は、各JIS号数に応じた組立時の高さの目安を示したものです。
お子様の身長に合わせて、適切な高さでご使用ください。
高さ調整は、付属の紙メジャーをご使用ください。

〈 JIS規格号数と机（天板）の高さの目安 〉

※この表は標準的な目安の寸法です。実際にはお子様の身長･体型に合わせて机･イスの高さ、奥行きを決めてください。

〈JIS規格号数と身長の目安〉

**組立前にチェック**

お子様の身長に該当する号数に○を付けて天板の高さを決めましょう。

〈JIS規格号数と机･イスの高さ･奥行きの目安〉

| JIS規格号数 | | 2号 | 3号 | 4号 | 5号 | 5.5号 | 6号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 標準身長（cm） | | 120 | 135 | 150 | 165 | 173 | 180 |
| 机 | 天板の高さ（cm） | 52 | 58 | 64 | 70 | 73 | 76 |
| イス | 座面の高さ（cm） | 30 | 34 | 38 | 42 | 44 | 46 |
| | 座面の奥行き（cm） | 29 | 33 | 36 | 38 | 39 | 40 |

## デスク 部品明細（組立て前に必ずご確認ください。）

| 記号 | 部品名 | 数量 |
|---|---|---|
| ア | コネクトボルト（M6×40mm）実物大 | ×15 |
| イ | リング | ×8 |
| ウ | 片側連結ボルト（24mm） | ×10 |
| エ | スイングフック | ×2 |
| オ | 整理トレー | ×1 |
| カ | 号数スケール | ×1 |
| キ | コネクトボルト（M6×60mm）実物大 | ×2 |

### Point〔回転金具について〕

**回転金具**
（部材に埋め込まれています）

**右に回すと締ります。**
**左に回すと緩みます。**

矢印を連結ボルトの方に合わせると、連結ボルトが入り（外れ）ます。

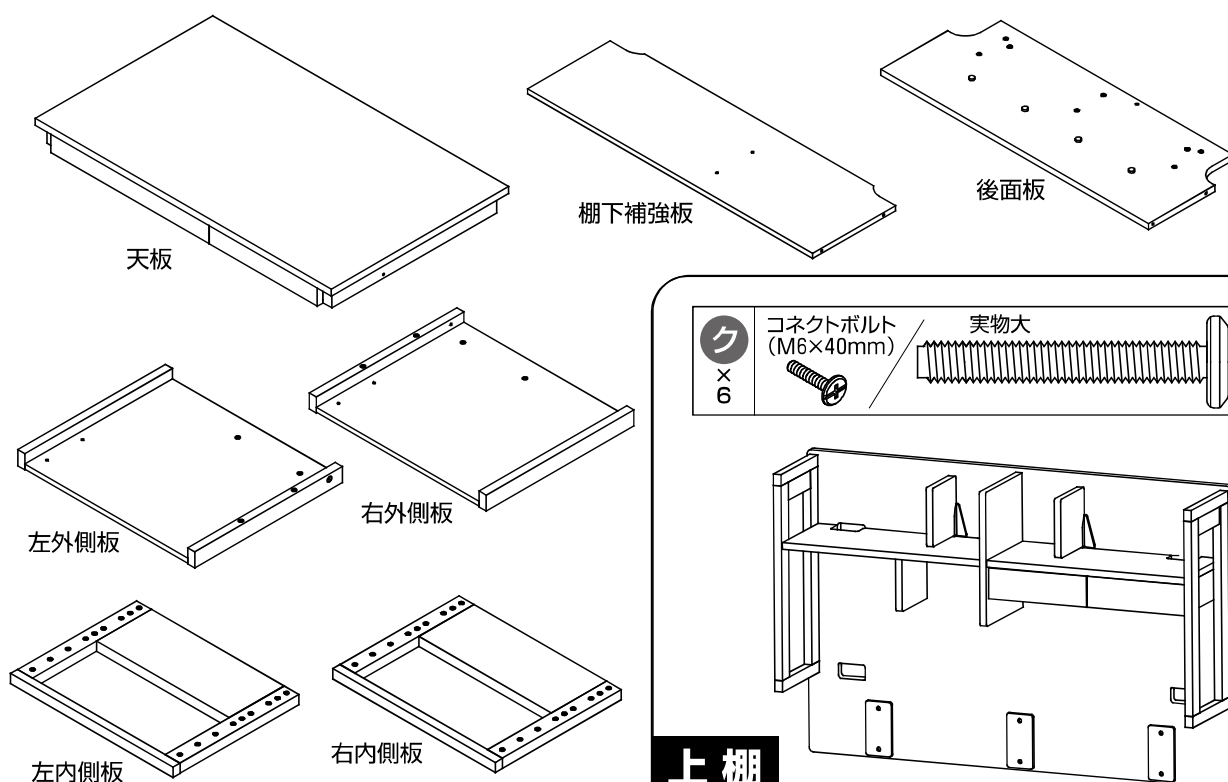
回転金具　矢印　片側連結ボルト

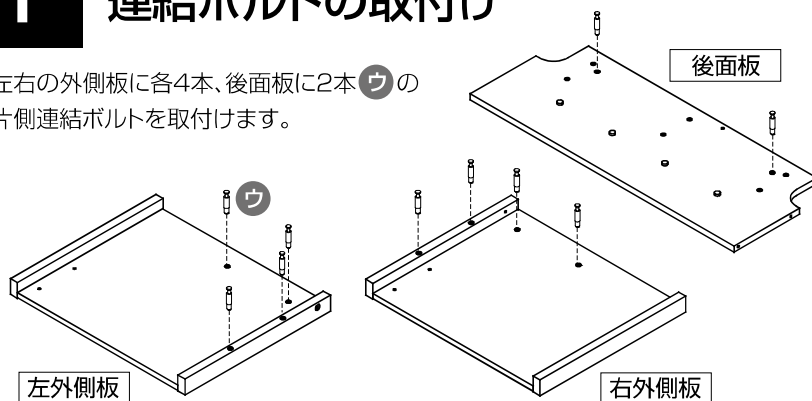
●組立てには⊕のドライバーをご使用ください。
**電動ドライバー、電動工具は製品を傷つけたり破損する恐れがありますので、手回しのドライバーを使用してください。**

●組立ての際、キズ防止のために保護シート等の上で作業を行ってください。その際の保護シートはお客様の方でご用意ください。

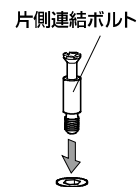
天板　棚下補強板　後面板　左外側板　右外側板　左内側板　右内側板

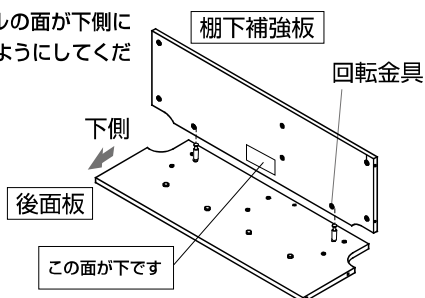
## 上棚

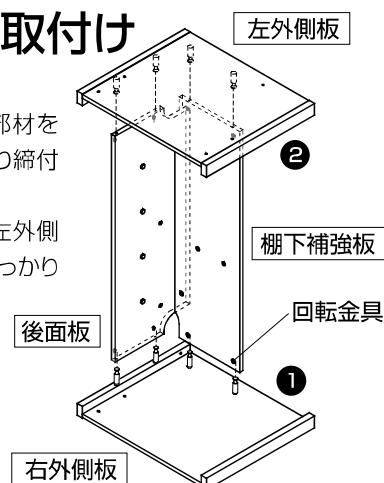
| 記号 | 部品名 | 数量 |
|---|---|---|
| ク | コネクトボルト（M6×40mm）実物大 | ×6 |

# 1 連結ボルトの取付け

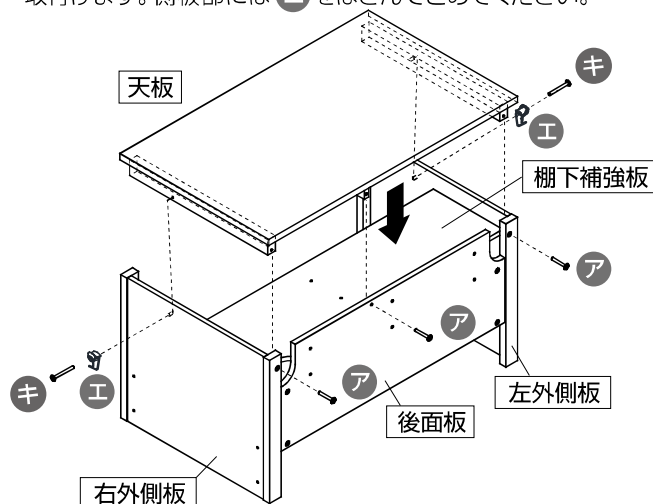
左右の外側板に各4本、後面板に2本ウの片側連結ボルトを取付けます。

### Point〔連結ボルトについて〕

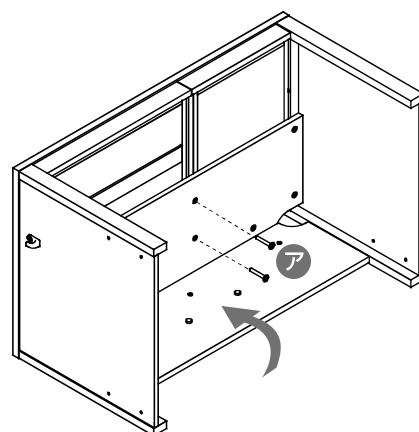
**連結ボルトを鬼目ナットにねじ込む時は、締め込みすぎないよう注意してください。**
鬼目ナットが外れたり、連結ボルトの頭が破損する恐れがあります。

片側連結ボルト

## 2 棚下補強板の取付け

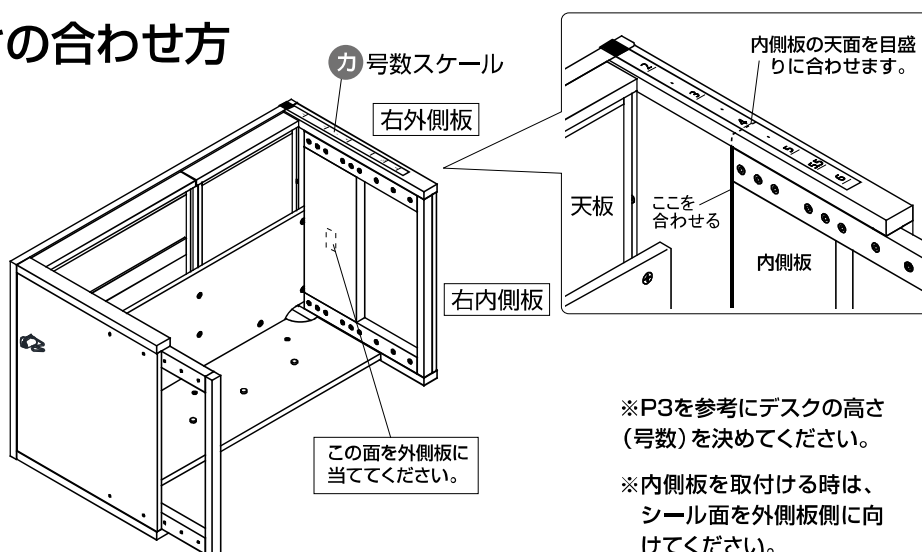
後面板に棚下補強板を取付け、回転金具をしっかり締付けます。

## 3 外側板の取付け

❶右外側板に 2 で組んだ部材を取付け、回転金具をしっかり締付けます。
❷右外側板と組んだ部材に左外側板を取付け、回転金具をしっかり締付けます。

## 4 天板の取付け

3 で組んだ部材を起こして天板をのせ キ ア のコネクトボルトで取付けます。側板部には エ をはさんでとめてください。

## 5 天板の取付け

天板を取付けたデスクを倒し、図の位置から ア のコネクトボルトを差し込み、しっかり締付けます。

## 6 デスク高さの合わせ方

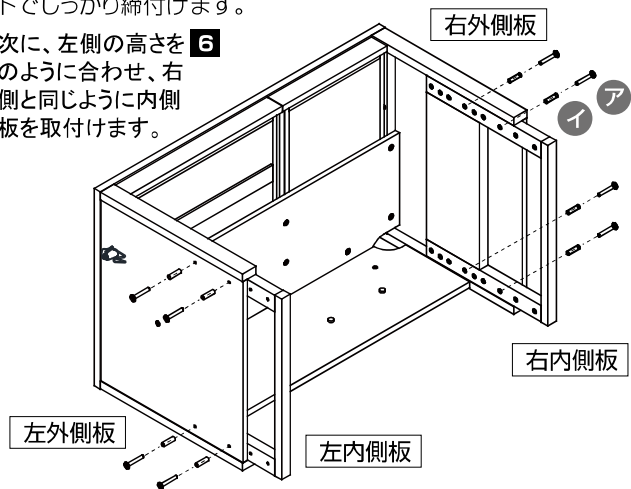
デスク高さの合わせ方は、付属の号数スケールを基準にしてください。デスクを後ろに倒した状態で、号数スケールの黒い部分を天板に合わせ、内側板の天面をお子様の身長の号数メモリに合せてください。

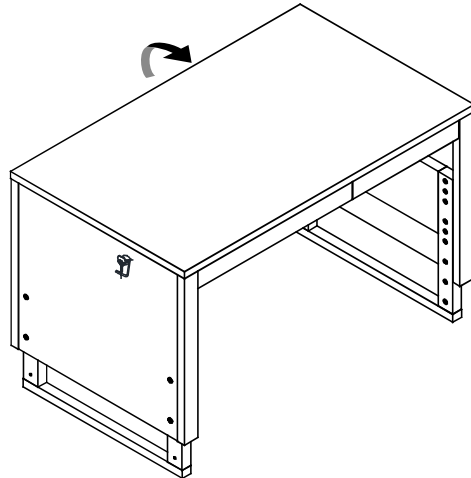
合せてから 7 の内側板の取付けまでは左右片側ずつ行ってください。(ここでは右側板から組立てています。)

※P3を参考にデスクの高さ(号数)を決めてください。

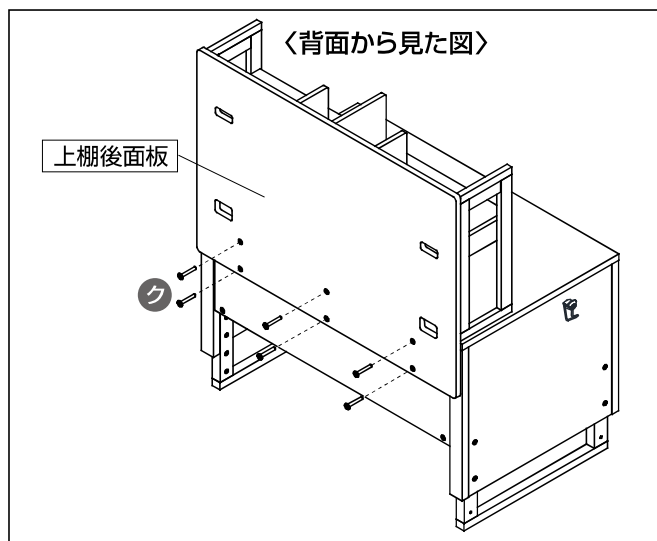
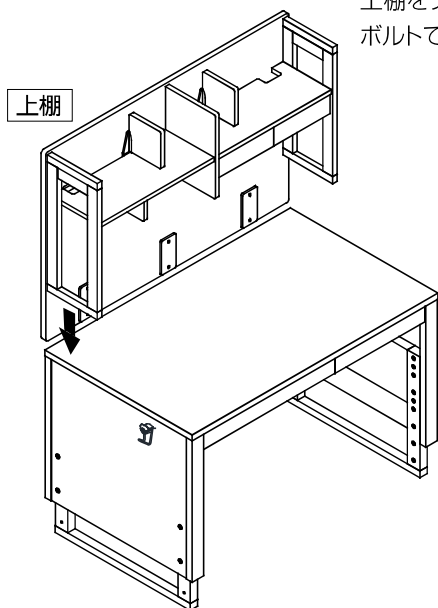
※内側板を取付ける時は、シール面を外側板側に向けてください。

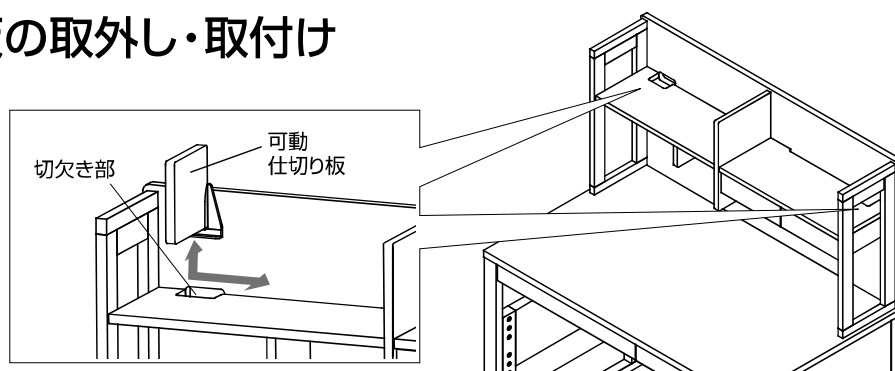
## 7 内側板の取付け

6 で合わせた内側板に イ のリングを差し込み ア のコネクトボルトでしっかり締付けます。

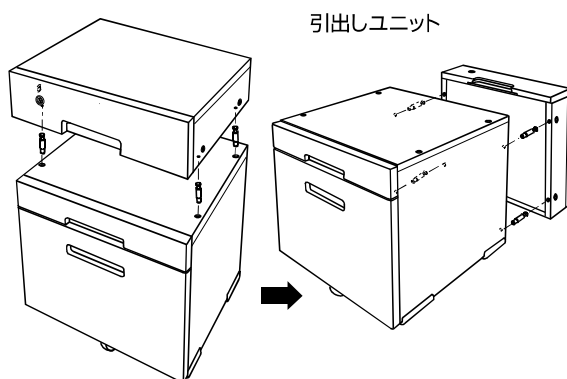
次に、左側の高さを 6 のように合わせ、右側と同じように内側板を取付けます。

## 8 デスク組立て確認

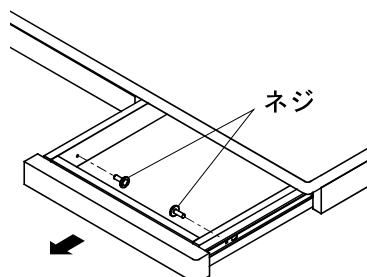
組み上がったデスクを起こし、デスクのガタツキが無いか、ボルトの締付けをチェックしてください。

## 9 上棚の取付け

上棚をデスクにのせ、デスクの後面板と上棚の後面板のボルト穴を合わせ ク のコネクトボルトでしっかり締付けます。

## 10 可動仕切板の取外し・取付け

可動仕切板の取外し・取付けは、棚板の左右切欠き部から行うことができます。

## 3段ワゴン引出しユニットの収め方

専用ワゴンは、天板高さJIS2号、3号の場合は引出しユニット（上部引出し）を分割する必要があります。
分割したユニットは図のように背面に取付けすることができます。

**※組替え方法は、専用ワゴンの取扱説明書を参照してください。**

## 引出しを取外す場合は

引出しを取外したい場合は、引出し枠板の内側からネジを外し、手前に引出すと、取外すことができます。

# デスク高さ変更方法

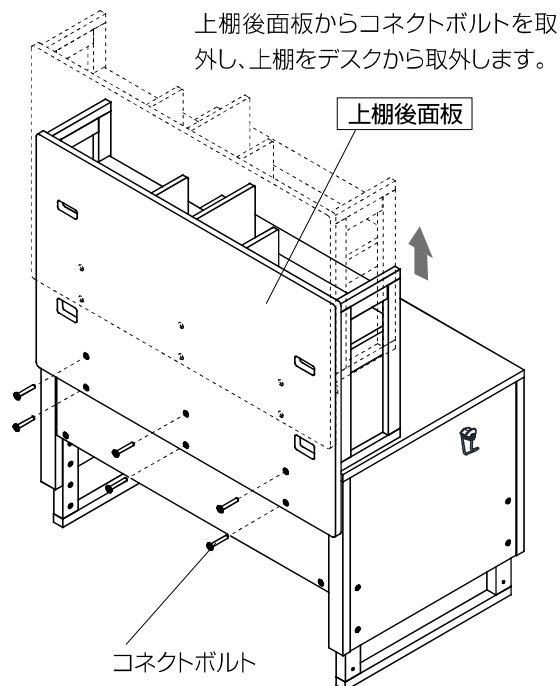
## ■組替え前に

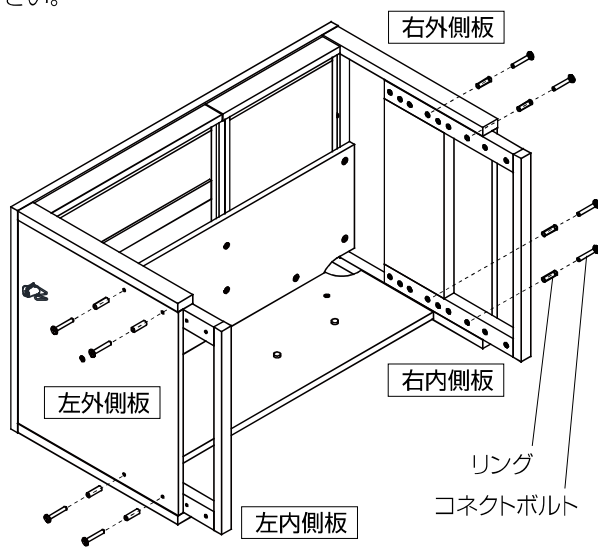
❶ デスクを組替える前に、まずは、デスク天板や上棚の上にある全ての物をおろしてください。

❷ 次にP3を確認し、どのような形（高さ）にするかを決めてください。

❸ **分解や組替えの際には、必ず2人以上で作業を行ってください。
また、部材や部品をなくさないように注意してください。**

### 1 上棚の取外し

上棚後面板からコネクトボルトを取外し、上棚をデスクから取外します。

### 2 内側板の取外し

デスクを倒し、デスクの左右側板からコネクトボルトとリングを取外します。
内側板を取外し、再度新しい高さに内側板を取付けてください。

**再組付け方法は前ページ記載の 6 ～ 10 の手順で行ってください。**

## ■おかしいかな？と思ったら

| Q | A |
|---|---|
| 組立てがうまくいかない。<br>部品が取付かない。 | 説明書の手順で組立てていますか?<br>取付け部品の種類や向きが間違っていませんか? |
| 木目や色が想像と違う。<br>展示品や写真と違う。 | 木目や色がカタログ及び見本製品と違いが出る場合があります。 |
| 部品が余ってしまった。 | 組立パターンにより、使用しない部品や部材が生じる場合があります。組替え時には必要になりますので大切に保管してください。 |

## ■製品廃棄について

不要になった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。
廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。 ご不明な点はご相談ください。

# 修理と製品保証について

この度はオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしております。
万一保証期間内（一般社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく）に故障した場合は無料にて修理をさせていただきます。
（お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所・現象の例による。）

**修理は、お買い上げの販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。**

**所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。**

## 保証書

| 保証期間 | 不具合箇所・現象の例 | | 期　間 |
|---|---|---|---|
| | 外観・表面仕上げ | 塗装及び樹脂部品の変・褪色、クロスの磨耗 | 1年 |
| | 機構部・可動部 | 引出し、スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構の故障 | 2年 |
| | 構造体 | 強度、構造体にかかわる破損 | 3年 |
| 品　名 | デスク | 品　番　865XTA | お買上日　年　月　日 |
| おところ | | 販売店名　㊞ | |
| お 名 前 | | | |

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
  イ）組立て・取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
  ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。
  ハ）お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理・改造などによる故障。
  ニ）本書にお買い上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
  ホ）保証書の提示がない場合。
  ヘ）消耗部品の交換。
  ト）火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
4. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合せください。

株式会社 岡村製作所　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19階

よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所　インテリア営業部　製品開発室
ホームページアドレス　http://www.okamura.co.jp/
お問い合わせ・ご相談は お客様サービスセンターへ　フリーダイヤル 0120-81-9060
受付時間 9:00～17:20（土・日・祝日を除く）
T1405-24